

原子炉を起動し発電を再開いたしました。 ～第2回定期検査は8月終了予定です。～

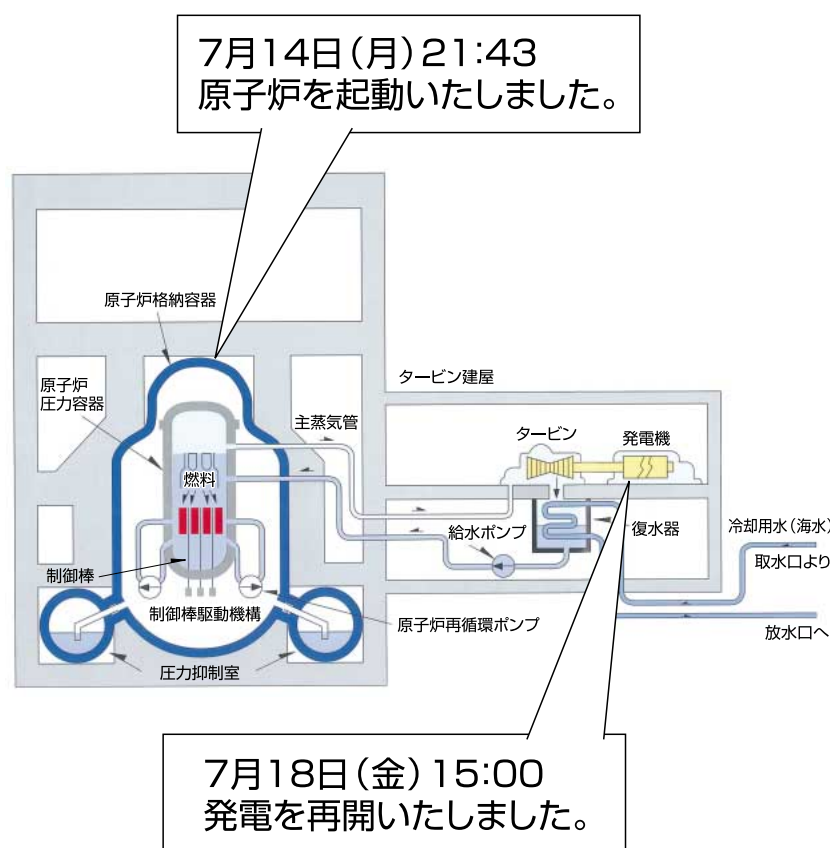
東通原子力発電所(所長 渡部孝男)は、平成20年3月22日から約5ヵ月間の計画で、第2回定期検査を実施しております。検査は順調に進んでおり、来月8月中旬には定期検査を終了する予定です。

定期検査は13ヵ月に1回実施することが法令で定められているもので、発電を止めて発電所内の機器を分解し詳細な点検を行ったり、一部燃料を新しいものに取替えるなど、原子力発電所の安全・安定運転にとって非常に重要な検査です。

7月14日に点検を終えた原子炉を起動し、18日には発電を再開いたしました(右図参照)。今後は調整運転を続けながら、およそ1ヵ月をかけて設備の健全性確認を行います。

定期検査は、最終検査である国による総合負荷性能検査に合格することをもって終了となります。地域の皆さまに安全・安心をお届けするために、所員一丸となってしっかりと検査に取り組んでまいります。

安全を最優先に、最後まで慎重に検査を遂行いたします!



定期検査 一口メモ

定期検査中はどれくらいの人が作業しているの?

普段、東通原子力発電所には約230名の所員が勤務しています。また、メンテナンス等の関係会社の方々も100名ほど常駐しています。

一方、定期検査中は、こうした常駐者に加え、1,000名にもおよぶ方々がさまざまな作業に従事しており、その数はピーク時には1,200名、延べ人数約90,000名ほどに達します。

こうした数多くの方々の尽力によって、発電所の安全が守られているのです。



多くの人たちの手に支えられ、安心をお届けしています。

定期検査の主な工程と進捗状況

